生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター　　施設名/足立区新田地域学習センター・コミュニティ図書館

【評価対象年度】令和7年度　【自己評価】令和8年4月9日　【評価委員会】令和8年8月18日
【評価点】水準を大きく上回る：5点　水準を上回る：4点　水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点　水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		評価点×2		
		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×２)		指定管理者	担当課	評価委員会
1 管理状況	A 適切な管理の履行	1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付　など	5.0 (×2)	5.0 (×2)	24.4 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み（意識、接遇の向上） ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施　など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】窓口付近の掲示物が煩雑かつ文字に限定したものが多かったため、多様性に配慮した取り組みとしてUDフォントやピクトグラムを用いた掲示物へ更新した。新旧掲示物の比較を行うため、センター独自の利用者アンケートを実施し、概ね好評であったことから利便性の向上が確認できた。また、人材育成の一環として手話に関するオープン型研修を実施した。地域にお住まいの関心のある方にもご参加いただけたことで、職員のみで受講するよりも意見の幅が広がりより学びの多い研修となった。			
			【改善すべき点･課題等】新予約システムの導入に伴い各種研修に参加。運用開始後も手順等に変更が生じているため、パート職員も含めた全員が同水準の対応ができるよう情報共有や個別の指導に努めたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、館内の案内表示の見直しを行った。UDフォントやピクトグラムを使うなどの工夫によりわかりやすさを改善し、独自で実施したアンケートでも利用者から好評を得るなど成果をあげたとして2点の加点とする。項目3について、人材育成研修として手話講座を実施した。近隣住民の参加を可能とすることで幅広い意見を集め、また障がいの有無を問わず、多様な客層に柔軟に対応できる接客力を向上させたとして評価する。オープン型研修の特別な成果はなかったことから水準点に1点の加点とする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】UDフォントやピクトグラムなど多様性に配慮した窓口掲示の刷新は独自アンケートで82.3%の支持を得ており、地域にも開かれたオープン型の手話研修とあわせて、障がいの有無を問わない多様な利用者に柔軟に対応できる窓口づくりが進んでいる。 【改善すべき点】手話研修の成果を窓口対応で活かす場面はこれからであり、指文字表の活用等、学んだ内容の定着と次期指定管理者への継承を期待する。 【その他注意点】			
	B 安全性の確保	**施設の安全性は確保されているか**		評価点 指定管理者	担当課	評価委員会
		1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応　など	3.0	3.0	14.2 (満点20点)
		2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案　など	3.0	3.0	
		3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理　など	4.0	5.0	
		4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知　など	5.0	3.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】館内環境の改善を目的とした動線の確保や防滑対策、傘立ての変更を行った。いずれも防犯やリスク管理の取り組みであり、廊下・階段での転倒や傘の取り違え等のトラブルの未然防止につながった。			
			【改善すべき点･課題等】都営住宅の敷地内にセンターがあり、駐車場も隣接していることから案内看板を刷新し、センター利用者が都営住宅住民用の駐車場へ誤って停めてしまうリスクを一定程度抑制できた。しかし、住民用駐車場の方が台数が多く、特に「初めて来館する利用者」がすべてセンターの駐車場であると思い込んでしまうリスクが依然として残っているため、今後はこの「思い込み」を根本から解消し、誤駐車をさらに防ぐための継続的なアプローチを講じていく。			
		区記入欄	【特記事項】項目3について、備品の購入や案内表示の設置により、館内の安全性向上を図った。明確な効果は見えづらいが、日常の気づきを活かした改善を行い、実際に事故の発生がないことを成果として評価し2点の加点とする。項目4について、西新井警察署より提供された新田地域の犯罪件数をミニコミ紙で掲載した。犯罪発生状況の周知は地域の防犯意識向上に関連するものではあるが、危機管理向上の取り組みとしては不十分として、加点はしない。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】階段の一方通行化や滑り止めテープ・エントランスマット交換による防滑対策、傘立ての入れ替えによる見通しの確保など、日常の気づきを活かした改善を積み重ね、利用者が安全に施設を利用できるよう配慮された設備安全対策の実施を評価する。また年間を通じて事故が発生していない点も評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】西新井警察署と連携したミニコミ紙への犯罪発生状況の掲載は、地域の防犯意識の啓発として意義があり、継続に期待したい。			

C 法令等の遵守（※倫理性も含む）	**個人情報保護､各種法令等は遵守されているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施　など	3.0	3.0	9.0 （満点15点）
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】年4回の個人情報関連の研修を遺漏なく行った。漏洩等の事故はなく、研修の結果が反映されていると考える。内部規定としてISO 27001に準拠しており、監査結果を反映する形でシステムの改訂が行われた。			
		【改善すべき点･課題等】個人情報の送付・受け取り時や持ち出し時に記録を取ることが業務フローとなっているが、今後もダブルチェックを徹底しヒューマンエラーによる漏洩リスクを最小限に抑えるよう努める。また、情報の保有自体を最小限に留める運用を検討し、安全性の更なる向上を図りたい。			
	区記入欄	【特記事項】個人情報について、日頃の丁寧な事務や漏洩防止策の実施により、適切な個人情報保護体制が構築されていたことを評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】法令違反や個人情報事故の発生はなく、個人情報保護研修も定期的に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 適切な財務・財産管理	**適切な財務運営・財産管理が行われているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和7年度収支　(9,863千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備　など	3.0	3.0	3.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】センター内では統括責任者に加え経理担当者を配置しており、本社の経理担当者も含めた多角的な視点で確認を行うことで、経理上の不備を未然に防ぐ体制を整えた。			
		【改善すべき点･課題等】下半期の新予約システム導入に伴い、窓口業務では複数体制によるチェック機能を強化し、ミスの未然防止に努めた。全職員の習熟度を均一化するため、継続的な研修や迅速な情報共有を徹底したい。			
	区記入欄	【特記事項】システムの切り替えに伴い、新しい決済方法や収納管理の仕組みに変更があったが、チェック体制の強化や習熟度を深める所内研修等を行い、入出金事務等のミス防止に努めたことを評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】収支は黒字を確保しており、適正な経理処理が行われている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
業事２	A 学習事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、ＳＮＳ、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	19.6 （満点20点）
		2	A型事業（基本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆Ａ型事業の企画・実施・成果	4.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	4.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】項目1について、各ソーシャルメディアのフォロワー数の増加を目標とした、館内デジタルサイネージや掲示物と連動した取り組み等を行い目標値を達成した。項目2について、地域の防犯・防災意識の向上を目指し、町会の防災部や地域の特色でもあるハイパーレスキューとの連携事業を実施した。災害への備えやレスキュー隊の仕事への知識を学ぶことで地域の防災意識を高める一助となった。項目4について、令和6年度からの講座参加者の要望に応える形で新規のステップアップ講座を企画・実施した。参加者の7割が継続受講者であったが、基礎講座の参加者の中で開催曜日変更の影響から参加できなかった方もいるため、今後開催する際の参考としたい。			
			【改善すべき点･課題等】項目2・3について、いずれも新規事業を提供し初利用者や初参加者の獲得を目標とした。2については定員拡大が必要なほど申し込みがあり、3については時期や費用の面で子どもが参加しやすい事業を提供できたが、その反面リピーターのお申し込みも多く、初利用者の獲得目標値には届かなかった。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、LINE、Instagramの講座案内を工夫し、フォロワー数や閲覧数を増加させたとして水準点に2点の加点とする。項目2について、工作や料理など幅広い事業を展開した。受講者における新規利用者7割という目標には達していないものの、独自性のある新規講座により好評を得ている点で水準点に2点の加点とする。項目3について、食品サンプルづくりなど、近隣の子どもに多くの体験事業を提供した。目標としていた受講者における新規利用者5割には未達であったが、多くの子どもに貴重な学習機会を与えた点を評価し、水準点に2点の加点とする。項目4について、既存講座参加者のニーズを踏まえたステップアップ講座を実施した。既存受講者の更なる生涯学習の推進に寄与したとして水準点に2点の加点とする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】広報について、講座案内を工夫し、フォロワー数や閲覧数を増加させた。また子ども向けの学習機会提供事業など独自性のある講座を新規実施し参加者からも好評を得ていることを評価する。その他、ステップアップ講座「ピラティス＋」は参加者全員が継続受講者で目標を達成した。山の幸染めや親子アート体験など新規講座の企画も活発である。 【改善すべき点】新規講座・区推進事業とも新規利用者割合の目標（7割・5割）には未達であった。対象層への届け方の再検討を求める。 【その他注意点】			
	B 学習支援の取り組み	**施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充　など	5.0	5.0	14.8 （満点15点）
		2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携　など	5.0	5.0	
		3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用　など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】項目1についてInstagramと館内掲示、デジタルサイネージを連動した登録団体の支援を行った。各団体のPR動画の放送、Instagramへの投稿やInstagramへ繋がるリンク（二次元コード）のポスター掲示などの周知に加え、支援講座の開催やミニコミ紙掲載記事の大判での掲示など会員数増加へのサポートを行った。また項目2・3について、足立児童相談所から地域のお店まで幅広く連携し、地域課題の解決や地域交流等につながる事業を提供することができた。また、新田楽生苑との継続した連携や、新たに都市農業公園ともアウトリーチ事業で双方に連携するなど、登録団体やセンターボランティアの新たな活躍の場の創出にも繋がった。			
			【改善すべき点･課題等】地域の多様な主体と連携してきたが、ボランティア・登録団体どちらもアウトリーチ活動ができる人材や団体に限りがあるため、地域人材の発掘や団体の活性化にも注力したい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、SNSなどを通じて登録団体の活動内容を内外へ計画的にアピールしており、団体からも好評である。また登録団体のアウトリーチにも取り組み、団体の活躍機会の促進に貢献していることを評価し、水準点に2点の加点とした。項目2について、受講者におけるセンター初利用者5割という獲得目標は達成できなかったが、区内福祉関連団体や地域店舗等との新たな地域連携に積極的に取り組んだことを評価し2点の加点とした。項目3について、元記者であるボランティア協力のもと、その人脈を活かした近隣商店の紹介をミニコミ紙に掲載した。ボランティアの活用と、近隣の魅力発信の一助となったことを評価し、水準点に2点の加点とする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】サークル支援講座（6団体・参加57人）から6人の入会につながり、Instagram等での活動成果の発信も会員から好評である。しまなみまつりや都市農業公園への新たなアウトリーチにより、登録団体・ボランティアの発表機会を拡大した。またセンター初利用者獲得の取組みとして実施した区内法人と連携した講座企画は評価したい。 【改善すべき点】コンサート型の体験講座は参加者が多い一方で入会には結びついておらず、体験から加入への導線の工夫を期待する。 【その他注意点】			

			評価点		
C 図書館事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果　など	5.0	5.0	10.0 （満点10点）
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】就労体験や高校生ボランティアの受け入れ、高校生の保育園訪問に加え、区内の大学生ボランティアとの連携事業を行った。			
		【改善すべき点･課題等】令和7年度も地域との連携に力を入れられたが、毎年実施している大学生のインターンシップについて、応募がなく中止となったのが惜しまれた。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、児童コーナーの手作りぬいぐるみによる案内や装飾を施した特集棚は、利用者の関心を高め、書架の利便性向上や貸出促進につながっている点を評価し、2点加点する。項目2について、大学生・高校生向けの活動や保育園向け取組を通じ、若年層の図書館利用促進に寄与している点を評価し、水準点に2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】大学生ボランティア選定の特集棚やブックリスト配布、児童向けブックラリー（延べ830人）など、幅広い世代への読書推進が成果を上げている。手話を取り入れたおはなし会など多様性への配慮も見られる。また高校生による保育園児への読み聞かせは、読書を通じて地域の異世代交流の機会を創出した点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】親子利用と一般利用が共存できる運用の工夫を求める。			

			評価点		
D 利用の状況	**適切な利用状況となっているか （環境の変化など外部要因を考慮）**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設31% ＜参考＞学習施設目標値36.7%　（前年度利用率＋3%）	4.0	4.0	9.0 （満点10点）
	2	図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（62,884人）　※基準値/60,706人 貸出冊数（75,844冊）　※基準値/73,555冊	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 （センター）令和7年度利用率は36.2%（+2.5%）で、週末の劇団やコーラスなどの一般団体の利用は令和6年度から継続して目立っていた。学習施設の空き室活用として、課題にも挙げている学習スペースを提供したが、利用者からは「静かで集中できる」「机が広くて勉強しやすい」といった意見が多く概ね好評で、望まれていた環境を提供できたという手応えがあった。 （図書館）新規に新田地区に引っ越された方の利用登録が図書館への来館につながっている。			
		【改善すべき点･課題等】 （センター）利用者からの要望に応える形で、令和6年度は限定的な開催であった中・高・大学生（その他学生含む）対象の学習室開放型の学習スペースを曜日・時間を固定して通年で提供した。フリースペースや図書館の利用が可能であり、利用者からすると三番手といった印象で、こちらから声かけを行っても断られるケースが多く見られた。利用者が全くいない日もあり、本取り組みの情報が浸透するまで継続してミニコミ紙・ソーシャルメディア等で発信し続けたが、年間を通じて安定した利用者数の獲得には至らなかった。 （図書館）来館者数と比較し、貸出数の減少が続くので、展示の仕方を工夫し、様々な資料を手に取れる機会がさらにあれば、より貸出数が増えたのではないかと考えられる。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、通年の学習スペース提供事業を開催した。利用者数の伸び悩みなどから目標としていた開催件数は達成できなかったが、近隣学校への情報発信など精力的に取り組んだ点や、目標である前年度利用率+3%には達しなかったものの、利用率を向上させた点を評価し、1点の加点とした。項目2について、前年度減点であった貸出冊数は基準値変更の影響もあり基準値を満たした。また、利用者前年比増加率及び貸出冊数前年比増加率ともに加点基準を達成したため、2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】図書館は利用者数・貸出冊数とも基準値を達成し、令和6年度減点となった貸出冊数も改善が確認できる。学習施設利用率も36.2%と基準値を上回り、令和6年度から2.5%向上した。 【改善すべき点】貸出冊数は基準値変更の影響が大きく、冊数自体は減少傾向にあるため、親子層への働きかけ等、貸出増に向けた取り組みの継続を求める。また、中高生向け学習スペースは周知を重ねても利用が伸びず、利用率も目標（前年度＋3%）にわずかに届いておらず、対象層への届け方の工夫を期待する。 【その他注意点】			

E　3分野連携事業	**3分野連携事業を計画通り実施しているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の３種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型情報発信）をしているか　など	5.0	5.0	5.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】新規プログラムの開催と本事業の認知度の向上を目標とした。新規プログラムとして平日日中に仕事がある方向けに夜間帯開催のプログラム、また、館外でのプログラム等を開催し、いずれも一定数の新規利用者の獲得につながった。令和6年度の振り返りやヒアリングの結果、子育て世代の方が単独で参加する講座よりも親子で参加できる講座を希望しているということがわかった。そこで親子で参加できるプログラムを増やし新規利用者を獲得することで本事業の認知度向上につなげた。			
		【改善すべき点･課題等】M1（関心喚起）プログラム数が多いが、M2（行動生起）、M3（習慣化）へとつながる受け皿が若干希薄なように感じた。もう少しバリエーションを多く提供できるようプログラム体系を見直したい。			
	区記入欄	【特記事項】平日日中を避けた時間帯の事業実施やニーズにあわせた講座の展開、親子で楽しんでもらうことを主目的とした事業企画など、3分野連携事業のメインターゲットである子育て世帯を広く呼び込むための工夫を数多く実施し効果をあげたことから2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】新規目玉事業4本を実施し、3分野連携事業71本中50本を親子対象とするなど、様々な事業が展開された。子育て世代のニーズを踏まえた企画が参加につながっている。 【改善すべき点】スポーツスタッキングやバードウォッチングなど参加者が僅少の事業もあり、開催時期・周知方法を含めた見直しを求める。 【その他注意点】			
F　主要事業の企画・実施・成果	**5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか（評価点×３）**		評価点×3		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			25.5 （満点30点）
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】5カ年の最終年であったが、3つのアプローチ事業それぞれをブラッシュアップして実施。「カフェ新田」は年間5回実施し、司法書士・遺品整理士・空き家相談士などによる終活に関する相談機会の提供やアロマキャンドルづくりなど、世代間の交流も円滑となるよう内容を充実させた。「新田キッチン」では基礎～上級までステップアップしながら学べるパン教室、多種多彩な料理教室を積極的に実施した。利用者アンケートでもパン教室の充実に関する好評を得た。「新田劇場」では令和6年度までの事業を継続したが、一部で対象の幅を広げるなど、より多くの方にセンターの魅力を知っていただけるよう努めた。もうひとつの柱であるアウトリーチ事業では新たな活動場所として都市農業公園と連携。センターからは登録団体やボランティアの派遣、事業講師の紹介、都市農業公園側からはふれあいまつりにて開催したカフェ新田へ参加いただくなど、相互に施設を行き来した活動を行うことができた。			
		【改善すべき点･課題等】最終年度の総評を述べると、当初はコロナ禍の影響を受け施設利用そのものが困難な時期もあったものの、その後の年で地域の多様な主体の交流につながる取り組みを行い、その積み重ねが結びつきとなり、主にアプローチ事業を中心に継続した利用に繋がった部分もあった。その点で「地域住民が地域に愛着を持ち、互いの個性や価値観を認め合ったうえでつながりを持つこと」という当初のビジョンは達成できた。こうして醸成された地域の学びのサイクルが引き継がれていけばと思う。			
	区記入欄	【特記事項】地域交流におけるセンターのプラットフォーム化を目標に「カフェ新田」「新田劇場」「新田キッチン」の三つの事業のもと地域の各種団体、施設、人材との連携を様々な形で行い交流を広げた。五年間を通して、各種事業の醸成により、地域のつながりを深めたことを評価する。またアウトリーチ事業についても新たな連携先のもと施設利用者の学習成果還元に努めた。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】地域交流の核となる施設として、カフェ新田の定期開催（5回）を軸に劇場・キッチンとの連動が実現し、サポーター主体のアウトリーチや広報サポーターの活用など、学び合いのサイクル（協創の輪）を形にすることで地域のつながりを深めた。成果目標を達したと評価される。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点×2		
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	利用者の満足を得られているか（評価点×２）		指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.2（×2）	33.0 （満点40点）
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示　など		4.6（×2）	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙　など		4.1（×2）	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上　など		3.6（×2）	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】開館から28年が経過しハード面の老朽化が課題となる中、ソフト面（掲示物、案内板等）の改善に令和6年度から取り組んでおり、利用者アンケートでは清潔感について好評を得ている。経年劣化を視覚情報の工夫で補い、いつ・だれが来館しても新鮮なセンターに感じられるような施設運営を達成できた。			
		【改善すべき点･課題等】アンケート結果にも記載のあるとおり、フリースペースの座席数や、廊下の環境（ベンチソファ）などのハード面、登録団体数や事業の定員数など、小規模なセンターであることが少なからず影響している課題については次期指定管理者と区所管課で改善していけるような取り組みが必要である。			
	区記入欄	【特記事項】アンケートについて、ほとんどの項目で満足度の向上が見られた。丁寧な各指定管理業務の成果だと言える。一方、寄せられた自由意見について、設備やサービスの不足を訴える内容が多い。取り揃えているものも多いと考えられるため、案内やアピール不足であったと判断する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】接客・清潔さ共に概ね高い評価が得られており、自由意見でも講座や職員対応への感謝の声が多い。苦情・要望に対する検討・対応も丁寧に整理されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】図書館では騒音やマナーに関する意見が複数あり、巡回強化等の対応は行われているが、引き続き静粛な閲覧環境の確保に努めてほしい。廊下の椅子や図書館の座席など、待合・閲覧スペースへの要望も多い。またウォシュレットの設置やCD資料の充実など区に関わる要望も寄せられており、所管課との情報共有を期待する。			
合計点			110.0（満点130点）	142.0（満点=170点）	167.5（満点=200点）

特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	豊富な企画と適切な運営を評価したい。また、5カ年計画の最終年度であり、カフェ新田を中心とした学び合いの場が定着し、サポーターや地域団体との協創の輪が着実に広がった点を評価する。図書館も令和6年度減点となった貸出冊数が基準を満たし、多世代への読書推進活動が活発である。

【評価委員会評価結果】

評価委員会評価結果	得点	評価
	167	A

⇒ ﾗﾝｸﾀﾞｳﾝ 有・(無) ⇒ 総合評価 A

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
該当項目なし。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A－	B＋	B	B－	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」･･･評価項目が全て「３」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。